

## 1. 平成 29 年度事業報告

### (1) 会員数の動向

種 別 \ 年 度		28 年度末 (29.3.31)	29 年度末 (30.3.31)	備 考
正会員	企業会員	58	60	+ 2
	団体会員	7	7	± 0
	個人会員	277	297	+20 (+25-5)
	計	342	364	+22
賛助会員		31	31	± 0
学生会員		1	1	± 0 (+1-1)
合 計		374	396	+22

### (2) 会議

#### ①第 6 回定時総会

平成 29 年 5 月 23 日、メルパーク東京（東京都港区）において、正会員 270（内委任状出席 198）の出席により開催した。今村会長の開会挨拶に続き、林野庁木材産業課木材製品技術室長井口真輝様よりご祝辞を頂戴し、その後、議長に今村会長を選出して、議事次第により審議が進められた。審議事項である平成 28 年度決算（案）（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（参事の新設）、理事及び監事任期満了に伴う役員選任に関する件は、全て原案通り承認された。また、報告事項である、平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画及び収支予算が説明された。

#### ②理事会

##### i. 第 1 回理事会

平成 29 年 4 月 27 日、三会堂ビル（東京都港区）において開催し、第 6 回定時総会の議題及び審議事項について審議された。

第 6 回定時総会の議題は、審議事項として平成 28 年度決算（案）（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（参事の新設）、理事及び監事任期満了に伴う役員選任、報告事項として平成 28 年度事業、平成 29 年度事業計画及び収支予算、第 28 回木材保存技術奨励賞及び第 14 回木材保存学術奨励賞授与者の発表とすることが承認された。また、理事会の審議事項として、企業会員、賛助会員の加入、木材保存剤等の新規認定登録、第 28 回木材保存技術奨励賞及び第 14 回木材保存学術奨励賞授与者の決定、JAS 法改正に伴う木材保存剤分析方法の規格化委員会及び木質外構材劣化調査の継続が承認された。

報告事項として、前回理事会以降の事業、個人会員加入（12 名）、木材保存剤等の登録更新（35 製品）、変更届（5 件）、平成 29 年度木材劣化診断士更新講習会等について説明された。

##### ii. 第 2 回理事会

平成 29 年 9 月 8 日、三会堂ビル（東京都港区）において開催し、40 周年記念事業での表彰、木材保存剤等の新規認定登録（6 製品）、表彰規程の改訂について審議され、表彰規程の改訂は継続審議事項となり、他の 2 件は承認された。また、報告事項として会長及び常務理事の自己の業務執行状況（定款 22 条第 3 項に規定）、前回理事会以降の事業、個人会員加入（4 名）、木材保存剤等登録更新（25 製品）・同変更届（7 件）、平成 29 年度木材劣化診断士資格検定講習・試験、第 35 回木材保存講座兼平成 29 年度木材保存士更新講習会、第 37 回木材保存士資格検定講習・試験の開催等について説明された。

### iii. 第3回理事会

平成30年2月16日、商工会館（東京都千代田区）において開催し、第7回定時総会の招集決議、平成30年度事業計画（案）及び同収支予算（案）、木材保存剤等の新規認定登録（3製品）、IRG52日本大会の開催場所、表彰規程の改訂について審議し、それぞれ承認された。また、報告事項として会長及び常務理事の自己の業務執行状況（定款22条第3項に規定）、前回理事会以降の事業、個人会員加入（11名）、木材保存剤等認定登録変更届（2件）と会員数の状況、第34回年次大会及び創立40周年記念事業の開催概要等について説明された。

### ③正副会長会議

平成29年4月11日、27日、8月8日、11月27日、平成30年2月5日、16日の合計6回を協会会議室において開催し、事業の進捗状況の確認、企画運営委員会審議事項、木材保存学入門改訂4版の制作、表彰規程の改訂、IRG52日本大会の開催、協会の運営等について検討し、それぞれを担当する委員会等に必要な対策を講じる様事務局を通じて指示された。

## (3) 委員会及び部会活動

### ①企画運営委員会

#### i. 第1回企画運営委員会

平成29年4月14日、協会会議室において開催し、第1回理事会へ提案する議題として、第6回定時総会の審議事項として、平成28年度決算（案）（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（総会議事録署名人数、副会長・常務理事の定数に関する事項）、理事及び監事退任に伴う役員選任、報告事項として平成28年度事業報告、平成29年度事業計画（案）及び同収支予算（案）、第28回木材保存技術奨励賞、第14回木材保存学術奨励賞の授与者の発表とすることが承認された。また、報告事項として、前回委員会以降の事業、個人会員加入（12名）、平成29年度木材劣化診断士更新講習会等について説明された。

#### ii. 第2回企画運営委員会

平成29年8月18日、協会会議室において開催し、第2回理事会へ提案する議題として、40周年記念事業、会長賞授与候補者を理事会の議題とすることが承認された。また、報告事項として前回委員会以降の事業報告、個人会員加入（4名）、木材保存剤等新規認定登録（6製品）、木材保存剤等の登録更新（25製品）・変更届（7件）、平成29年度木材劣化診断士資格検定講習・試験について報告された。

#### iii. 第3回企画運営委員会

平成30年2月9日、協会会議室において開催し、第3回理事会へ提案する議題として、第7回定時総会の招集、平成30年度事業計画（案）及び同収支予算（案）、IRG52日本大会の開催場所、表彰規程の改訂案等を理事会の議題とすることが承認された。また、報告事項として前回委員会以降の事業、個人会員加入（11名）、木材保存剤等の新規認定登録（3製品）・変更届（2件）、第34回年次大会及び創立40周年記念事業の開催概要、第35回木材保存講座兼平成29年度木材保存士更新講習会の開催、第37回木材保存士資格検定講習・試験の実施等について説明された。

### ②認定委員会

平成29年4月13日、8月17日、平成30年2月2日、協会会議室において合計3回開催し、木材保存剤等の新規認定登録、登録更新、変更届、規格集の改訂等について審議・検討され、企画運営委員会に報告するとともに、理事会に提案された。

### ③広報（編集）委員会

会誌「木材保存」を発行する為、協会会議室において編集委員会と幹事会を隔月に合計

12回開催し、企画・編集等を行い6回発行（奇数月）した。また、当協会のホームページの充実を図った。また、拡大広報委員会を平成30年3月15日、京都府大（京都市）において開催し、平成30年度の活動方針等が確認された。

#### ④木材保存士委員会

「第35回木材保存講座兼平成29年度木材保存士更新講習会」（平成29年12月東京、大阪）及び「第37回木材保存士資格検定講習・試験」（平成30年1月東京）を開催した。

委員会は、平成30年3月9日、協会会議室において開催し、第37回木材保存士の資格検定試験の合否判定及び各アンケートの回答により講習会の開催方法等を検討した。また、保存講座は今年度1講義が終了することから後継講義は、「耐火」とし講師選びは事務局に一任された。

#### ⑤木材劣化診断士委員会

平成29年度「木材劣化診断研修会兼更新講習会」（平成29年7月東京、大阪）及び「平成29年度木材劣化士資格検定講習・試験」（平成29年8月東京）を開催した。

委員会は、平成29年10月17日、協会会議室において開催し、平成29年度木材劣化診断士資格検定試験の合否判定及び次回の資格検定講習・試験等の実施を打合せた。また、国土交通省の既存住宅インスペクション講習団体に認定されたことから、更新講習及び資格検定講習時にインスペクションに関する講習が実施され修了証が交付された。

#### ⑥年次大会運営委員会

平成29年7月14日、協会会議室において、第1回委員会を開催し、第33回年次大会の総括を行った。また、平成30年3月7日協会会議室において、第2回委員会を開催し、第34回年次大会及び40周年記念事業の企画、運営等について打ち合わせを行い、準備すべき物品・作業内容・役割分担等が確認された。

#### ⑦授賞選考委員会

平成30年3月14日、京都府大（京都市）において開催し、平成30年5月の定時総会で授与する「第1回日本木材保存協会功績賞」、「第29回木材保存技術奨励賞」及び「第15回木材保存学術奨励賞」の授賞者の選考を行い、候補者が会長に報告された。

### (4) 規程の改訂等

表彰規程 表彰規程と表彰選考基準を一括した改訂案が第3回理事会で承認され、2月16日発効した。

会長賞規程 会長賞授与規程が無いことから、規程案を第3回理事会に提案し承認され、2月16日発効した。

### (5) 事業

#### ①公益目的事業

##### i. 木材保存に関する調査研究事業【公1】

##### a. 地域材利用の木材関係者等への支援対策事業（林野庁）

地域材利用拡大のための木質外構部材のリフォーム・リニューアル技術の確立と普及を図るため、木材の紫外線、降雨等による劣化状況を確認するための施設を群馬県県内3カ所に設置するとともに、そのリフォーム・リニューアル方法及び費用などを説明する講演会を全国5カ所で開催し、延べ出席者は212名であった。

##### b. JAS規格化等のテーマに関する調査事業（木材保存剤分析方法の規格化）（農林水産省）

木材中の木材保存剤の分析は、保存処理薬剤及び樹種の多様化により正確な分析が困難な事例が増加していることから試験方法の改良を検討し、手順書作成と試験方法の妥当性検証の作業を進めた。

- c. 木材劣化診断データ収集
  - 劣化診断士の診断技術の向上と診断実務の支援事業として、レジストグラフ（穿孔抵抗値測定装置）を当協会に備え、木材劣化診断士に貸出をしている。また、年間の活動報告として提出頂いている診断データ件数は増えている。
- ii. 木材保存に関する普及啓発及び指導事業【公2】
  - a. 年次大会の開催
    - 平成29年5月23日～24日、メルパルク東京（東京都港区）において、「第33回年次大会」を開催した。ポスター発表24件、口頭発表8件、公開シンポジウム「都市の木質化と保存処理木材の活用」及び企業展示を実施した。
  - b. 木材保存技術奨励賞、木材保存学術奨励賞、年次大会ベストポスター賞、優秀ポスター賞、ベストプレゼンテーション賞の授与
    - 木材保存に関する技術者・研究者の育成を図るため、平成29年5月23日に開催した総会において、優れた技術業績、研究業績に対して第28回木材保存技術奨励賞及び第14回木材保存学術奨励賞を授与した。また、「第33回年次大会」における優秀なポスター発表に対してベストポスター賞及び優秀ポスター賞、優秀な口頭発表に対してベストプレゼンテーション賞をそれぞれ授与した。
  - c. 木材保存講座の開催
    - 木材保存に関する新しい知識・技術の普及を図る為、「第35回木材保存講座」を平成29年12月4日、エル・おおさか（大阪府中央区）、12月8日、木材会館（東京都江東区）において開催し、182名が聴講した。
  - d. 木材劣化診断研修会の開催
    - 劣化診断に関する新しい知識・技術の普及を図る為、「平成29年度木材劣化診断研修会兼更新講習会」を平成29年7月11日、木材会館（東京都江東区）、7月20日、梅田パシフィックビルディング（大阪府北区）において開催し、64名が聴講した。
  - e. 会誌「木材保存」の発行
    - 第43巻第3号～第6号、第44巻第1号～第2号を発行した。
  - f. 木材保存に関する諸外国との情報交流
    - 平成30年度の国際木材保存会議（IRG）は、南アフリカ（IRG49）で開催されるが、補助金支給の対象年度である当年度の応募者はいなかった。
- iii. 適正な木材保存処理の推進事業【公3】
  - a. 木材保存剤等の新規認定、認定登録更新
    - 消費者に対し効力と安全性に優れた木材保存剤等を提供するため、木材保存剤等の認定を行っている。平成29年度は、新たに7製品（内訳：木材防蟻剤1製品、木材防腐・防蟻剤6製品）を認定した。
    - また、平成29年度中に登録の有効期間を満了する木材保存剤等については更新審査を行い60製品の登録更新を承認した。
  - b. 木材保存士の登録・育成
    - 木材及び木質材料に関する保存処理の適正化及び保存処理製品の品質の安定・向上を担保することを目的に木材保存士制度を設けているが、その資格認定登録に関する「第37回木材保存士資格検定講習・試験」を平成29年1月25日～26日、木材会館（東京都江東区）において開催し、試験に合格した57名を新たに木材保存士として登録した。
  - c. 木材劣化診断士の登録・育成
    - 保存処理木材等の劣化診断を行い、これらの材料を適切に維持・管理し、耐久性

の向上を図ることを目的に木材劣化診断士制度を設けている。その資格認定登録に関する「平成 29 年度木材劣化診断士資格検定講習・試験」を平成 29 年 8 月 30 日に木材会館（東京都台東区）において開催し、試験に合格した 40 名を新たに木材劣化診断士として登録した。

②収益事業

- i. 木材保存に関する性能試験等の受託事業【収 1】
  - a. 保存処理木材の実用化研究会の設置  
企業会員 1 社より受託し、実用化研究会を設置して研究を行った。
  - b. 木材保存剤等の性能試験  
木材保存剤の開発等に係る性能試験を企業 2 社より受注し、実施した。
  - c. 日本木材保存剤工業会の事務受託  
日本木材保存剤工業会より総会の開催案内、会費請求、資料の受発信、協会事務所での委員会開催準備等の業務を受託し実施した。

以上

授与式

第1回日本木材保存協会功績賞、第29回木材保存技術奨励賞及び  
第15回木材保存学術奨励賞

第1回日本木材保存協会功績賞（2名）

受賞者 木口 実（日本大学 生物資源科学部 教授）

業績 木材の耐候性に関する研究業績と木材保存広報活動への貢献

受賞者 羽生 直人（宇都宮大学 農学部 教授）

業績 木材腐朽に関する研究業績と木材保存広報活動への貢献

第29回木材保存技術奨励賞

受賞者 三村 佳織（兼松サステック株式会社）

業績 軟弱地盤対策のための地中利用木材の長期耐久性の検証

第15回木材保存学術奨励賞

受賞者 江部 憲一（山形県工業技術センター）

業績 混練型WPCの表面劣化に関する研究